

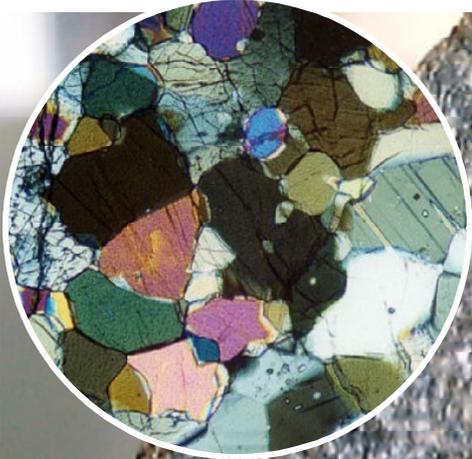
輝く鉱物の石

岩石名 輝岩 Pyroxenite
(きがん)

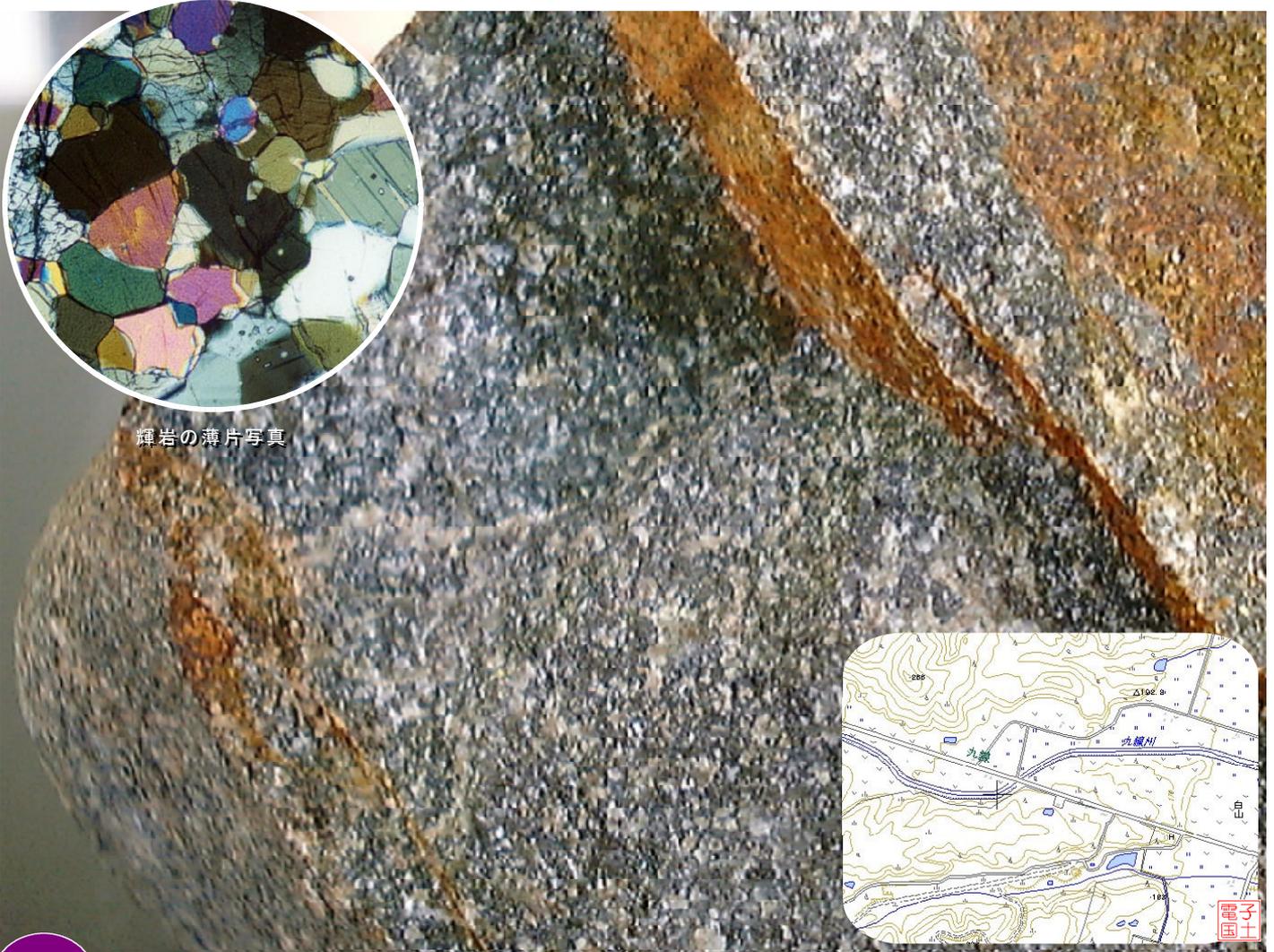
時代 中生代白亜紀

地質区分 幌加内オフィオライト

産出地 士別市温根別九線川



輝岩の薄片写真



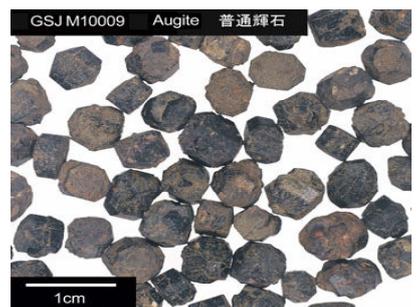
解説

士別市温根別の幌加内オフィオライトには多くの珍しい岩石が観察されますが、その中でもこの標本は、輝石を多量に含む「輝岩」という珍しい岩石です。輝石という鉱物自体はいろいろな火成岩に普通に含まれる鉱物ですが、それを多量に含む岩石は大変にめずらしいものです。マントルの一部が溶け、それが冷え固まった岩石と考えられます。大変硬い岩石で、ハンマーで割るには大変苦勞します。標本の

り、珍しい石を探して歩くのも楽しい河原です。

「オフィオライト」は、カンラン岩、斑れい岩、玄武岩などが下から上へ層状に重なった岩体のこと

で、過去の海洋地殻とその下のマントルが地表に露出したものです。オフィオライトの岩石の多くは変成作用を受けており、蛇紋岩、角閃岩などの変成岩類が多くなっています。



普通輝石（地質調査所地質標本館）



士別市温根別九線川

調べてみよう

輝岩の薄片を偏光顕微鏡で観察してみよう。色鮮やかな鉱物が輝石です。